

筑波大学附属駒場高等学校の生徒来訪

令和5年7月27日（木）、筑波大学附属駒場高等学校の2年生生徒2名が当組合を訪れ、熊野市内における林業の展望について取材を受けました。

生徒たちは地域振興研究会に所属し、11月に行われる文化祭で発表する研究課題として熊野市に関する研究に取り組んでおり、その一環として24日から27日までの4日間にわたり21名の生徒が熊野市を訪れ、取材先の一つとして2名の生徒が当組合を訪問し熊野市における林業の現況、将来に向けての展望などについて質問するなど熱心に学習していました。



生徒から質問を受け、組合長が回答している模様